



## 第17回全国産業教育フェア沖縄大会にて

同窓会会長 久保村 昭衛

同窓生の皆様お元気ですか……

沖縄県にて、平成19年度・第17回国産教育フェア沖縄大会が「輝く海と太陽に集え！作る技術と産業の輪！未来への発信！」をキャッチフレーズとして、平成19年11月23日（金）24日（土）の両日にわたり、沖縄県宜野湾市の「沖縄コンベンションセンター」を中心会場に開催されました。文部科学省、沖縄県産業教育振興会等とともに（財）産業教育振興中央会は主催者側の一つとして大会の実施に協力しました。常務理事として運営に携わりともに大会を視察し、参加生徒および大会の運営に協力する生徒たちの活動に触れることも出来たことなど概要を報告します。

大会の一つの総合開会式は、メイン会場の沖縄コンベンション劇場棟で開催されました。都道府県旗の入場、挨拶、祝辞に続き生徒実行委員長の川武舞さんが「参加・創造・発信のキーコンセプトのもと一生懸命に準備をして

きました。皆さんを心から歓迎します。」との挨拶が象徴するように、生徒たちの真気で準備した大会が開始されました。

記念講演は、NHK連続テレビ小説「どんど晴れ」のヒロイン、浅倉夏美役の比嘉愛未さんが行いました。比嘉さんは沖縄県立中部農林高等学校を3年前に卒業したばかりですが、講話の中で「迷わず努力すれば未来は開けると後輩の生徒にエールを送りました。

文部科学省・安藤慶明参事官は講話の中で比嘉さんの講話中の「もう一度生まれてきたときは、やはり農林高校に入りたい」と話されたのを捉えて、「生徒にとってあのような言葉が出るようなよい高等学校づくりが非常に大切だと、改めて思いました。」と述べました。

第13回高校生ロボット相撲大会は、第2日目、宜野湾市民会館で開催されました。この大会は、高校生がロボット政策を通じて技術の基礎・基本を習

得し、研究意欲の向上と創造性を発揮し、ものづくりの楽しさを知ることを目的とするもので、全国のブロック大会上位入賞32台による勝ち抜き戦で行われました。生徒の自作による各ロボットともそれぞれ工夫を凝らして改良し、強そうな「しこ名」をつけての対戦はスピードもあり、迫力に富んだ好取組の連続でした。会場を回り選手に声をかけて激励し、表彰式では産振中央会長代理として優勝者に文部科学大臣賞状を授与し、功を称えました。

産業教育フェア2007沖縄大会は、「こんにちは」と生徒たちの大きな挨拶の声が周りの中から掛かる中で盛大に開催され、大会も成功裏に終了できた事を評価しています。

近年の科学技術の高度化、国際化や情報化の進展より産業構造・社会構造が大きく変化する中で、自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる資質や能力を持ち、高度な知識や技術を有するスペシャリストが強く求められている今日です。

専門教育には社会との接点やコミュニケーション能力等の育成、教育の「流行」の面と専攻分野の知識・技術をしっかり身につける教育の「不易」な面の両面の追及が求められていると強く感じました。

## 中工の「夢」を語る

本校校長 萩原和夫

久保村会長より標題の原稿を依頼されました。本校に着任して2年目、地味ながら様々な取り組みをしてまいりました。これまで達成したものの、道半ばのものそれぞれあります。その中で、中途退学者の減少が夢と言えるか疑問ですが、取り上げたいと思います。中工に取りましてそれほど深刻で、私の学校経営計画の第1番です。本校で中途退学者を減少させることが生徒を入学させ、学ばせ、卒業させる焦眉の課題になり、いまは道半ばどころか端緒にいたばかりの状況です。

中途退学者の減少はあくまで結果であって、中工のすべての教育力が求められる問題です。入学・学校生活・卒業そのときどきの状況を発展させていく必要があります。入学の状況では、中学生や保護者に中工をアピールするため、ホームページ・パンフレットなどの広報活動を活発します。学校生活の状況では、生徒の実態に即した教育課程の改善

や校内組織の充実、老朽化した校舎の整備が必要です。とりわけ校舎の老朽化は都立高校の中で、大きな格差といえます。卒業の状況では、就職進学につながるキャリア教育の推進が大切です。キャリア教育は望ましい職業観を身につけることで、卒業後の進路の定着に重要な役割を果たします。今年度からインターシッパ（企業体験）を実施しました。少しずつ夢の実現に向けて進化していきます。今後とも中途退学者の減少に向けて努力してまいります。どうぞご協力をお願いします。

## 同窓会会報に寄せて

校長 萩原和夫

日頃より久保村会長をはじめ、同窓会会員の皆様には本校の教育にご理解と協力を賜り厚く御礼を申し上げます。この間の本校を取り巻く状況を報告させていただきます。

東京都教育委員会は「東京都教育ビジョン(第2次)」が5月発表され、将来の教育指針が示されました。その中で、産業界のニーズ

にこたえる教育カリキュラムの実施が重点となっています。本校ではこれに呼応して、技能習得型インターシッパ(10日間)を初めて夏季休業中に実施します。今年度は機械系企業1名、食品工業系企業2名が参加します。

6月には、学校経営支援センターの「学校経営診断」のヒヤリングがありました。これは学校経営に対する東京都教育委員会が経営上の診断を行うもので、主として中途退学者の取り組みについて報告しました。現在、総合技術科の

コース制の検討や進級規定の見直しを行って、中途退学者の減少に取り組んでいます。

体育祭が水害などで、6年間中止になっていましたが、10月3日再開することになりました。生徒会やPTAの強い希望があり、教職員が準備を進めてきました。今後は体育系の学校行事として位置付けていきます。

引き続き、本校同窓会のご支援をいただきながら、部活動や学校行事を一層活性化させていく所存です。



## 私なぜ中野工業高校を選んだか

同窓会副会長  
3C 新井英光

私が中野工業の前身、都立農産工業に入社したのは、今から60年前の昭和21年(1946年)4月でした。

前年の昭和20年8月に学童疎開先の福島県猪苗代町の奥田屋と云う旅館で、真夏の暑い日、天皇陛下の玉音放送を聴きました、意味が分からずあとから先生に敗戦の事実を聞きました、翌月に米軍の兵士が町にきました、ジープと兵士のスマートさに圧倒されこんな国と戦って勝てるはず無いと感じました。一番強く感じた事は指導者の責任と決断です。もし昭和20年7月のポツダム宣言で終戦を決断し受託をしていれば広島・長崎の原爆もソ連の参戦も無かった訳です。又、昭和19年11月26日に出たカイロ宣言を受託してれば、沖繩戦も東京・大阪の大空襲も無かったのです。当時の状況から連合軍に勝てる戦争ではない事は解っていた筈です。終戦までの軍国

教育から翌年からは民主教育に変わり、戦後教育の現状が有る訳で指導者の役割と決断の責任を大きく感じる訳です。

終戦から翌昭和21年3月までの小学校最後の担任の先生の素晴らしかった事が昨日の様に忘れられません。その方は小川 泰と云う先生で私達を小学校を卒業させて故郷の群馬県新田町に帰り、小学校・中学校の校長から新田町の町長に当選されました。小川先生は卒業時に、「日本は戦争に負けて領土も狭くなり、海外からは300万人以上の人々が引き揚げて来ます。日本の国は国土も狭く食料も資源も無い国なので、農業の強化と海外からの資源を加工する技術、すなわち工業力と海外の国々と商いをする商業力を身につければ生きて行けない」と強く私達最後の六年生に話しをされました。20名ほどの卒業生でしたが皆真剣に聞いておりました。

私は家からも近く化学に関心がありましたので都立農産工業学校の工業化学科に入学しました。戦後の東京は焼野原でバラック暮らし、父は病気で兄弟は8人で大変苦しい生活でしたが中学一年生から今で云う

アルバイトは何でもしました。翌々年から新制の中学・高校に変わり現在の都立中野工業高校、工業化学科を卒業し大学にも入りましたが、家の事情で続かず家業の手伝いから事業を自分で起こし現在がある訳です。私にはサラリーマンの経験がありませんが、自分で会社を興し経営して行く事も実務で勉強しながら学びました。

卒業時の小学校の先生、中工に入学してから昔風の先生方も居り、同窓会会長の久保村先輩のように厳しい人に教育され現在まで頑張つてこられたと思います。自分の育った時代を振り返り現在を見ると、国も豊かに見えますが食

料自給率も40%と低く資源の無い事には変わりなく、少子高齢化で国民の数も少なくなり現在を厳しく見つめて生きて行く事が大切ではないかと思えます。

現在の教育で一番足りないのは「人間は働いて生きて行く動物である」と云う事をしっかり教育すべきではないでしょうか、自分の権利ばかり主張しても人間は生きて行けません。

私は、男・女・男・女・男と5人の子供に恵まれ、孫も8人になりましたが、日本の将来を考えると、大変厳しいと感じております、自分の人生を振り返りながら、毎日を過ごしております。

## 平成20年度同窓会定時総会開催される

平成20年6月1日(日)母校被服室に於いて開催されました。会長以下162名(委任状出席132名出席28名及び萩原校長先生、顧問の大賀先生)が出席しました。

開会宣言後、会長の挨拶に続いて規定により会長を議長に選出し、議事が進められた。

1. 平成19年度事業報告の件
2. 平成19年度収支決算報告の件
3. 平成20年度役員改選の件
4. 平成20年度事業計画の件
5. 平成20年度収支予算案の件  
各議案の詳細は別紙を参照して下さい。
6. 本年度も・会報を発行する・新入会員を増やす・年会費の納入を呼びかける。

審議終了後ご出席いただいた校長先生、顧問の先生よりご挨拶を頂きました。

## 平成 19 年度事業報告

### 概要

活動目標であった

#### 1. 同窓会会報の発行。

11月3日に発行する事が出来た。

#### 2. 行事（催し事）。

- |      |                 |                  |        |             |
|------|-----------------|------------------|--------|-------------|
| (1)  | 平成 19 年 4 月 7 日 | 母校入学式            | 4 名出席  | 於：母校体育館     |
| (2)  | 4 月 22 日        | 役員会              | 9 名出席  | 於：母校音楽室     |
|      |                 | 同窓会総会資料の発送業務     |        |             |
| (3)  | 6 月 3 日         | 19 年度同窓会総会       | 20 名出席 | 於：母校音楽室     |
| (4)  | 6 月 17 日        | 役員会              | 8 名出席  | 於：野方地域センター  |
|      |                 | 会報発行の検討、その他      |        |             |
| (5)  | 7 月 7 日         | 役員会              | 9 名出席  | 於：野方地域センター  |
|      |                 | 会報発行の検討、その他      |        |             |
| (6)  | 8 月 19 日        | 役員会              | 10 名出席 | 於：野方地域センター  |
|      |                 | 会報発行の検討、その他      |        |             |
| (7)  | 10 月 14 日       | 役員会              | 9 名出席  | 於：野方地域センター  |
|      |                 | 会報発行の最終検討、その他    |        |             |
| (8)  | 11 月 3 日        | 中工祭（卒業生の歩み出展）    |        | 於：母校        |
| (9)  | 12 月 9 日        | 役員会              | 8 名出席  | 於：野方地域センター  |
|      |                 | 会報発行に關しての反省会、その他 |        |             |
| (10) | 平成 20 年 2 月 9 日 | 新春交歓会            | 21 名出席 | 於：'ランド'ハレスト |
| (11) | 3 月 10 日        | 母校卒業式            | 3 名出席  | 於：母校体育館     |

## 平成 19 年度収支予算案

### 収入の部

年会費	130000.
寄附金	120000.
入会金	150000.
前期繰越金	580574.
合 計	980574.

### 支出の部

行事費	150000.	中工祭、新年会、その他
会議費	50000.	総会、役員会、その他
通信費	150000.	各種案内、その他
印刷費	30000.	各種案内状印刷
事務用品費	20000.	
卒業記念品代	60000.	
部活動助成費	50000.	
交際費	20000.	
慶弔費	20000.	
振込み手数料	20000.	
予備費	410574.	
合 計	980574.	

## 平成 20 年度事業計画

### 基本計画

前年度の実行の事業計画を推進したい。

### 事業計画

- 同窓会会員の親睦を一層深めるためおおいにアピールをする。
- 同窓会会報の発行。
- 行事（催し事）。
  - 母校入学式（4月8日）
  - 新会員歓迎会（4月27日）
  - 20年度定時総会（6月1日）
  - 母校体育祭（9月下旬）
  - 母校文化祭（中工祭）（11月3日）卒業生の歩み出展
  - 新春交歓会（新年会）（2月上旬）
  - 母校卒業式（3月上旬）
  - 役員会の随時開催（2ヶ月に1回程度）

## 平成 20 年度収支予算案

### 収入の部

年会費	200000.
寄附金	150000.
入会金	150000.
前期繰越金	570737.
合 計	1070737.

### 支出の部

行事費	150000.	中工祭、新春交歓会、その他
会議費	150000.	総会、役員会、新会員歓迎会、その他
通信費	200000.	各種案内、その他
印刷費	30000.	各種案内状印刷
事務用品費	20000.	
卒業記念品代	100000.	
部活動助成費	50000.	
交際費	20000.	
慶弔費	20000.	
振込み手数料	20000.	
予備費	310737.	
合 計	1070737.	



## 老いは必ず来る 悔いのない人生を！

3 F 齊藤興司

終戦の翌年昭和21年4月に中野工業高校併設中学校に入学以来27年3月に高校卒業するまで桃園校舎に6年間お世話になりました。卒業以来早くも半世紀が過ぎ55年の歳月が過ぎ世代も時節も大きく変わりました。当時は食糧難の時代皆が生活難と戦っている時に食品科の名前に魅惑され勇んで入学しました。加工用食品の材料も無く食糧買出しのため休校になる始末で今のよき時代にはまったく考えられない事です。狭い校庭でしたが放課後遅くまで野球やテニス・講堂でピンポン・青春を力いっぱいぶっつけ合い、又山岳部のメンバーとして三つ峠や奥多摩の山へ箱根の外輪山への沢登り等楽しい思い出があります。又同窓会報を読み卒業生の歩みを見ますと厳しい現実の社会で日夜を仕事に取組み家族を大切に頑張っている姿が目に見えます。大企業の一員として、又

小企業の一員として夢に向かって努力している姿ほど美しいものはありません。

ある時東国原宮崎県知事の話  
を聞くチャンスが有りました。

自分は芸人学生です。勉強する事によって人生を変えることが出来るとの信念で、40歳の時早稲田大学に入り、知事になりご存知のように活躍しています。

日本の未来を背負う現役のサラリーマンとして厳しい生存競争に戦っている方々にお伝えする事は無いのですが、私ども時代は終身雇用の風習のもとに企業第一と考え自分から退職はしませんでしたがサラリーマン生活50年のうち5回転職の厳しい現実を味会って参りましたが、企業倒産・事務所閉鎖・定年で転職せざるを得ませんでした。今の若い世代の職業に対する倫理観は変わりました。自分の行く道は自分で選ぶ時代です、現実に転職してよかった、迷っていたら勇気を出して変えるべきとの話を聞いています。

若い人へ提言です。  
① 希望を捨てない、いつか実

現を。

② あきらめずにその道を進む。

③ その気持ちを胸に秘めて努力を重ねて下さい。

中野工業高校卒業後翌年これからの日本は生きる道は国際化と覚り、上智大学経済学部に入學遅れていた英語力を痛烈に感じ毎時間宿題を出され短い文章を暗記させられ入学当初は大変でした。先生(神父さん)友人に助けられました。今でもよき友としてお付き合いをしています。お陰で輸出業務に外人の接衝業務に従事、多くの友人と交際する事が出来ました。その結果サラリーマン生活50年職場は変わりましたが専業すること無く過ごす事が出来ました。

中野工業高校のOBの方達も高齢者が増えボケ防止と長寿のため色々努力していると思いますが自分として実践しようと思っ

① 週2〜3回30分以上運動をする。  
② 食べ過ぎない。

③ ストレスを受け流す。  
④ 友人とのコミュニケーションのある生活。

⑤ 好奇心を持って新たな事に挑戦する。

⑥ 学習習慣を続ければ記憶力は保たれる。

⑦ 目標を持つ。

⑧ 自分に報酬を与える。

⑨ 本を読む習慣を維持する。

⑩ 意識的に段取りをする。

自分なりの目標を設定して悔いのない人生を楽しんで下さい。

## エンディングノート 死出の旅支度

昭和35年工化卒  
大津幹太郎

最近、年なのか家内ともども新聞の死亡広告欄が気になるようになってきました。

又、ボランティア仲間から「病氣」や「死」特に人生のエンディングにまつわる種々のお話をするようになりました。ご同年代の方でご興味ある方もいらっしゃるのではと思い一部をご紹介します。

○まず病気について家族が悩むのは、

\*不治の病の場合の当人へ告知  
\*意識の無い患者にチューブだらけの延命治療は？ 尊厳死については？

\*末期患者に苦痛を取り除くペインクリニック措置を医師から断れた場合

○そして「死」、必ず訪れるエンディングに対して何を留意すべきでしょうか？

\*自分の人生は満足だったか、生き方、モットーなど

\*遺族への言葉、友人の長年の厚誼に対する感謝の言葉、大切なのはご自分の伴侶や家族、友人に伝えたい最後のメッセージでしょう。

○続いて葬儀に関するもの、特に遺族が慌てふためくのは、

\*どんな葬式(そこそこ、地味、身内だけ)を本人は希望していたのか？

\*故人の宗教は？何派でお寺はどこだったか？

\*故人の死亡についての連絡すべき先のリストは？

\*故人の葬式用写真はどれを？  
弔辞は誰が？

\*その他の希望は？ 献体、臓器移植、散骨、墓地の種類、など

○その他はよくある話で遺産相続問題です。死亡すると故人の銀行口座が即座に閉鎖され、支払いに困ることがあり又、生前の良かった兄弟姉妹が険悪な仲になることもあるようです。

以上これ等についてご自分の意見や希望を生前に書きとめておくべきでしょう。

通常は殆ど準備が出来ておらずいざという時に困るようですが、このような場合大きな書店に行けばこれらに関する数十種類の書籍が販売されております。私は、NPO法人「ニッポン・アクティブライフ・クラブ(ナルク)」(電話番号03-3471-4320)が要領よく纏めた「エンディングノート」が廉価で頒布されているので入手いたしました。さて、縁起でもないお話ですが参考になったでしょうか？

## 組織での大切な事

13 M A 松岳洋治

小生は昭和37年に機械科を卒業し小平のタイヤ会社に就職し約38年間勤務してその後関係子会社の経営を任せられ昨年(64歳)全ての役職を退任し永かった組織人としての生活を終える事が出来、現在は孫のお守りと現役の頃仕事で訪れた海外を中心に家内と自由旅行をする生活を楽しんでいます。

自分が生きて来た時代は現在の社会環境に比べると大変恵まれた時代であったと熟、組織を離れた今考えられる様になりました。しかし現役の頃は組織の中で自分を見失いそうになることも度々であり其の都度中工の先輩や同期生に相談したものです、不思議なもので学校時代はそれ程親しくは無かった同窓生でも家族の様に本当に頼りになる仲間が周りに居てくれたことに感謝をしたものです。

丁度入社頃は社員は約5000人位でしたが現在は約12万人(内日本人は約3万人位)となりその組織の中で仕事を進める事は個人の力量の範疇を超えた部分が多々

有り面白くも有り苦心するところ  
です、其の中で自分として最も大切にして来た事は。

「一言、言ったばかりに」  
「一言、言わなかったばかりに」

この簡単な言葉です、大概の人はこんな事は良く分かっている事と思いますが日々雑多な仕事を進める時間の中で確実に自分の真意を組織の中に伝える事がその組織パワーを最大に発揮出来大きな結果を生む事に成り、伝える事が不十分では残念の結果になってしまいます。組織は人の集まりであり其の織り成す人間模様は縦糸も横糸も大切で一人の社員の転入、転出で職場の雰囲気ガラリと変わる事も多々有り大きな組織と言っても各々の人生観、価値観が大切な部分で有り、その意味でも上記の言葉を確実に出来る事が組織人として大切な事と思います。

以上の事を学ばせてもらったのは担任であった小林先生が工業経営の授業の中で訥々と教え頂いた事が自分の中で最も大切な教えと今迄大切にしてきました。卒業以来残念ながら小林先生にお会いする事が出来ませんでしたでしたが改めて深謝いたします。



# 継続は力なり

同窓会顧問 大賀文博

「光陰矢のごとし」月日の流れるのは早いものです。昨年、都立中野工業高等学校は60周年記念行事が終わったところです。歴史に重みのある学校で私は18年間勤務させていただきました。特に強く感じることは同窓会の活動が少し控え目であるようです。

高齢化社会に入り、卒業生の皆様は年を召されてきたところでは。自分の孫、曾孫さんとの会話の中で父母、祖父母の高校時代の懐かしさ等が話題にあまり、母校愛も沸いてくるのではないのでしょうか。

ところで、私は教職時代、高校は「親友を作る三年間だよ」と、折に触れ言及してきたのです。一例ですが、私が中野工高に赴任する前の学校にて初の担任として送り出した生徒は今年で53歳になります。今でもクラス会を2年に1回開き、クラスの半分の人が参加してはお互いに話に花を咲かせては明日の活力となっているようです。そこで中

工の同窓生である皆さんは同窓会には顔を出して旧交を暖めては如何でしょうか。現在、中工の同窓会は活動されています。同窓会を盛り上げるのは卒業生一人一人の意識の問題です。各卒業期の幹事の方々がお互いに連絡を取り合い、名簿作成をすることが必要ではないでしょうか。そしてその期の前後の各幹事の方が同窓会の役員に報告しあうことが大事であろうかと考えられます。しかし、ご時勢で、個人情報の大切さが叫ばれる今日で難しい面も多々あるのは否定できないようです。人にはそれぞれの価値観があり、判断力も異なり、十人十色であります。とは言え、中工の学び舎で学んだ同志であって語り合う事は最高の事ではないかと思われまます。そこで、同窓会の役員の方々は忍耐強くボランティア精神を発揮され、会の発展の為に更なる活動に傾注され、継続して行かれることを期待して止みません。

## 卒業生の歩み

10MA(機械課A組)  
昭和34年(1959年)卒業  
棚橋一三

**生徒達へ** 大学に行くか社会に出るか。これからの人生を決める大事な高校3年間。よくこれからのことを自分で考え、人生の先輩に聞き結論は自分で出す。

社会に出る人は、就職という大関門をくぐり抜けなさいといけません。しかし学生の内に社会を知ることとは難しい。ただ「社会に出て困難にぶつかってもくじけないぞ」という強い気持ちを持つて欲しい。仕事は会社に入ればいやと言うほど鍛えられる。自分自身に甘えることなく精神的に強くなっていくこと。

**先生へのお願い** 就職する学生への徹底したフォローをお願いしたい。まず一歩社会に踏み出す未知の世界へ行く不安感があると思う。私もそうだった。それによって、これからの人生がガラッと変わる。生徒に色々な経験をさせて印象深い高校3年間にしてほしいと思います。

**卒業後の歩み** 昭和34年(1959年)東京ガス入社。入社後東京

ガスの渋谷営業所を最初に管内事業所を多く転勤し勤務。その間に未普及地区にガスを何万件と引いたり、多摩ニュータウンの最初からたずさわりガスを引いたり、熱量変更を完遂させたり、ガス事故の処理や予防にあたり大きな事故になるのを未然に防止したりした。また本社でガスに関する特許管理や普及の仕事をした。高校時代と違う、まさに社会での経験を各職場でした。

平成12年(2000年)に定年退職。その後3年間嘱託勤務し退職。

**近況** 在職中に定年後に人の役にたつボランティアをしたいと思いつ腹話術の勉強をした。定年後から現在まで老人施設を慰問し芸能ボランティアをしたり、横浜人形の家でガイドボランティアをしている。また芸能ボランティアをするための芸の勉強を種々している。



## 会 便り

昭和35年工化卒

大津幹太郎

昭和35年工化B組卒業生43名は、既に5名が亡くなり住所判明者は31名だけとなりました。定年というひとつの節目からか、一時期途絶えていたクラス会が復活、最近では毎年9月中旬に行われ、出席者数も15〜18名と名簿者数の50%を越えております。

65歳以降勤めている人は減少してきましたが、なお現役でバリバリと活躍している人もいます。クラス会の話題はまず健康問題、この年代ならどこか悪いのは当たり前前、病魔と闘っている人、手術で生延びた人、一病息災、メタボでも元気な人など色々です。そして時には孫自慢、利権の失敗談、ボランティア活動、そして趣味の話など尽きないようです。ゴルフ部門は活発で隔月に集まりプレーを楽しんでいます。折角の出会いを大事にしたいもの、あと30年ほど名誉幹事を続ける積りです。

## 同窓会講演会について

同窓会では、母校60周年を契機として同窓生による講演会を活動の柱の一つとして、推進していくことになりました。

同窓生各位の積極的な参加を心からお待ちしております。

今年12月18日、11時から、母校体育館にて第10期卒業生の池田和司(弁護士、弁理士)さんが快く引き受けてくださり、ご本人の卒業以来の歩みと、裁判員制度について話されます。この制度は明年5月から実施され、国民は等しく参加する義務があります。在校生もあと2、3年すると成人となり、選挙権とともに、この制度の裁判員として選ばれる事があります。今のうちから、「成人になる事」の意義を考えるキッカケになつてくれることを願います。

母校は中野駅前から現在の野方の地に移り、50年余になります。近年の少子化の影響で、工業学校も例にもれず閉鎖の運命をたどっている学校があります。

母校から第1期生以下1万人に

近い卒業生が巣立っていききました。同窓生が経験したことは、ご本人のみならず、母校にとって貴重な財産であります。これらの経験を在校生に伝えていくことが、母校への大きな支援になると信じます。同窓生同士でも、仲間の経験は、刺激になり、励みにもなります。生徒を教えてください。先生方にも、皆の先輩には、こういう人もいる、「皆一緒に先輩に追いつこう」と生徒を励まして頂いたり、またご父兄の方々が聞いて下されば、それが親子で将来の話をするときの糸口にもなれば幸いです。同窓生各位におかれましては、ご自身で築き上げた財産をこの機会に是非ともご提供ください。講演会は毎年一度行つてゆきます。ご講演ならびにご参加をお願いいたします。

開催時期は、学校行事との関係を見ながら計画していきたくと思います。本行事を年中行事として定着させ、発展していくことを願うものです。「よし、まかせておけ」と云つて下さる同窓生の方々は同窓会事務局までご一報ください。

平成20年秋 同窓会事務局

## 事務局よりのお願い

同窓会会員の皆様方には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

同窓会の活動の様子や同窓生同志の情報交換の場として、本会報を発行しております。同窓会活動資金として同窓会「年会費2,000円」の納入をお願い致しており、毎年多くの方々より賛同を戴いておりますが、まだまだ少数です。約9,600名の同窓生の通信費、母校の部活動等の支援に資金が必要です。諸般の事情をご賢察の上、同窓会会員各位におかれま

しては、各種お知らせの際同封の振込み票にて「年会費2,000円」を納入して下さいようお願い申し上げます。

現在、住所の追跡調査をしております。同期・クラスに関係無く同窓生の所在が分かる方は事務局までご一報下さる様お願い致します。

### 問合せ先事務局

〒350-1304 狭山市狭山台2-25-12 田中正二  
Tel 04-2958-4698 Fax 04-2958-9729  
E-mail : NQD06772@nifty.com